

あむーる

島根県立松江北高等学校
第3学年 八幡英語通信
2016年6月16日発行
第9号

No.9



先輩は語る



受験を通して

九州大学経済学部経済・経営学科 福原将太

僕が、受験を通して一番感じたことは、大学受験は人生において大きな分かれ目となるものですが、それ以上に人間として大きく成長できるものだということです。確かに大学受験は辛く厳しいものですが、それから逃げずに、嫌なことに一生懸命になって取り組むことで、得るものがたくさんあったと思います。高校3年生の一年間はとても充実した一年間でした。

そして、僕が受験を通して学んだ多くのことの中で、とても印象に残ったことは、継続することの大切さと、何事にも一生懸命になって取り組むことの大切さでした。まず、継続することの大切さについてですが、部活動において日々の積み重ねが大切なように、勉強においても日々の積み重ねが必要不可欠だと思います。極端な話、昨日徹夜したから今日は30分といったムラのある勉強ではダメだと思います。受験勉強はとても辛いので、逃げ出したくなるかもしれませんが、それでも日々コツコツと勉強を続ければ、きっと最後がいいことがあると思います。また、勉強にも慣れがあるので、やはり継続することは大切なことだと思います。僕は、二次試験の前期以降、全く英文に触れていなかったのですが、この前2ヶ月ぶりくらいに英文を読んでみたら、読む速さがとても遅くなってびっくりしました。英語や国語などの文章を読む科目は慣れによって読む速さが変わってくるので、根気よく継続して勉強することが大切だと思います。

次に、何事にも一生懸命になることの大切さについてですが、僕は北高の良いところは何事にも一生懸命になることができる所にあると思います。聞いた話ですが、他の高校では、総体に出るつもりならもう一年浪人を考えろと言ってくる学校があるそうなのですが、北高にはそれがなく、自分が納得のいくところまで部活動をやっていい環境にあることが素晴らしいことだと思っています。やはり、何事にも一生懸命になって取り組めば、自分で納得できて、その後の勉強にも身が入ると思うので、後悔しない高校生活を送って欲しいと思います。だから、特に3年生は、高校生最後の年をおもいっきり満喫するために、勉強だけでなく、部活動や球技大会・学園祭のページェントなどを一生懸命になって取り組んで欲しいと思います。

そして、北高生の皆さんには夢を持って欲しいと思います。夢などの目標を持っていないと人間はやる気が起きないものです。夢を持っていれば、勉強にも身が入るし、何よりも夢に向かって努力することができることが大きいと思います。夢を持っていない人は、まだ時間があるので、本を読んだり、友達や先生に相談したりして、何かに興味を持つ機会を増やして、夢を持って欲しいと思います。

あと、北高の先生方は親切な先生が多く、朝早くから夜遅くまで学校に住んで？おられるので、北高生の皆さんはこの恵まれた環境を十分に活用して、勉強においてわからないことや、相談などを何度でもおもしりぶつけて欲しいと思います。

最後になりましたが、北高の先生方には3年間、いろいろ本当にお世話になり、ありがとうございました。

●福原君は僕が北高に赴任した年に3年生で担任した生徒です。バドミントンの県チャンピオンで、総体でも団体・個人で優勝してインターハイに行っています。「文武両道」の文字通り体現者でした。ただ、出願の時に大ボカ(?)をやってしまい大慌てしたのを覚えています。懐かしい! 🎾🎾🎾

Who are You?事件の真相!

昨日の「学校寄席」で森喜朗元総理の"Who are you?"にまつわる爆笑事件が話題になりました。沖縄サミットを控えた2000年、アメリカのワシントンで、クリントン大統領と日米首脳会談を行った森総理大臣が、とんでもない失言をかましたというものです。森さんは、側近から「クリントン大統領に会ったら、まず"How are you?"(ご機嫌いかがですか)と言って握手をしてください。そしたら大統領は"I'm fine. And you?"(調子は上々です。あなたはいかがですか)と答えるので、"Me too."(私もいいですよ)と応じてください」とアドバイスを受けました。ところが、いざ本番になると、森首相は極度の緊張のせいか、クリントン大統領に"Who are you?"(あなたは誰?)と切り出してしまったのです。これには側近も通訳も絶句、周囲は一瞬凍り付きシーンとしたといいます。しかし、さすがは合衆国大統領、クリントン大統領は苦笑いしながらも、"I'm Hillary's husband."(私はヒラリーの夫です)と絶妙のジョークで受け答えを見せます。ところが、森首相は当初のシナリオ通り"Me too."(私もヒラリーの夫です)とやってしまったというのです。巷ではこれを、「Who are you?事件」と呼んでいます(笑)。

しかし、これは全くの誤報であったことが、後になって判明しています。森首相は退陣後、一連の捏造報道について次のように語りました。『訪米した際、私がクリントン大統領に「フー・アー・ユー」と言ったと、まことしやかに報道された…いくら私が英語が得意でなくても、そんなこと言うわけがない。それを、私に確認もせず載せてしまう…こうなると、ほとんどもう…悪意そのもの。それが私個人の誹謗中傷で済むならいい…しかし、そういう報道が、日本の総理大臣、ひいては日本そのものを賤しめていることを、考えて欲しいのです』

さらに、この嘘の発信源として、森政権退陣後の2004年、毎日新聞記者の高畑昭男さんが、名乗り出て証言しています。

これは元々お隣の韓国の金泳三(キム・ヨンサム)大統領が英語が苦手なのを皮肉ったジョークです。それをどこかで聞いて、外務省記者クラブで「これ森さんに替えても使えるよね」と言ったら、それがあつという間に広がってしまった。森ジョークは私が広めた張本人でございまして、森首相には申し訳ないと思っております。これが実話のように新聞や週刊誌にも書かれて、一年くらい経った後でも、永六輔さんが講演をされた際に「これは本当にあった話だ」と話されたとか聞いております。

マスコミ報道というのは、かくもこわいものであります。何でも信用しないことです。👤👤👤

★八幡のサイト「チーム八ちゃん」はコチラ→ <https://teamhacchan.wordpress.com/> 話題満載です。

